

令和2年3月24日

天理市議会議長 大橋 基之 様

議会運営委員会
委員長 飯田 和男

議会運営委員会視察報告書

視察日程 令和元年10月24日(木)～10月25日(金)

視察先及び調査事項 岐阜県可児市 10月24日(木) 13時30分～15時
調査事項「議会改革について」

愛知県岩倉市 10月25日(金) 10時～11時30分
調査事項「議会改革について」

視察議員	委員長	飯田和男 (欠席：病気療養)
	副委員長	石津雅恵
	委員	仲西 敏
	委員	西崎圭介
	委員	榎堀秀樹
	委員	東田匡弘

随 行	議会事務局	村田 俊
-----	-------	------

1. 岐阜県可児市

調査事項「議会改革について」

視察先対応者

可児市議会		副議長	天羽	良明	氏
可児市議会	広報部会	部会長	山根	一男	氏
可児市議会	広聴部会	副部会長	渡邊	仁美	氏
可児市議会	広報部会	委員	野呂	和久	氏
可児市議会	広聴部会	委員	大平	伸二	氏
可児市議会	広聴部会	委員	松尾	和樹	氏

①目的

岐阜県可児市議会は、先進的な議会改革モデルとして、2017年議会改革度調査において岐阜県内でランキング1位に選出されている。「4つの政策サイクル」を柱とした議会改革の推進や市民アンケートの実施など、積極的に開かれた議会を目指す試みをしておられる先進地において、議会改革についての行政視察を実施し、本市に反映することを目的とする。

②施策概要

- ・可児市議会における議会改革の経緯
- ・議会改革の内容や具体的な施策について
- ・「4つの政策サイクル」について

岐阜県可児市における行政視察において、議会改革についての施策やその経緯などを懇切丁寧にご説明いただいた。

可児市議会においては、開かれた議会を目指すと共に、市民の声を議会に反映するための様々な試みが行われている。まず、過去に行われた可児市議会による自主的な市民アンケートによって、議会と市民の間に意識の隔たりがあることを把握されたところから、議会改革や情報公開の徹底、広報活動の強化などを行われた結果、可児市議会への関心度が大きく向上したという。

具体的な施策としては、議会改革のための市民アンケート実施、大学ゼミ生も参加する議会報告会、地域課題懇談会、子ども議会、高校生議会、高校生を対象とした模擬選挙、高校における地域課題解決型キャリア教育への関与、ママさん議会、周辺の他市町村議員

も参加可能な議員研修の開催、議会防災訓練、議場コンサート、インターネットや SNS などを活用した議会の広報活動展開、議場を薔薇の花で飾る「バラ議会」を年に一度実施するなど、様々な試みがされてきた。また、議会における議論の充実と分かりやすい議会の実現のために、反問権の行使、議員間における自由討議、一括質問と一問一答方式の選択制導入、委員会による代表質問、議場での視察報告会、議場モニターの設置（議会において資料や図などを大きく表示できるよう議場に大きなモニターを設置）などが実施されている。

可児市議会の議会運営における取り組みとして特徴的とされるのが「4つの政策サイクル」と称した議会運営のための仕組みづくりであり、主な内容は以下の通り。①議会運営サイクル：市議会の任期をまたいでも議長マニフェストや委員会の継続課題などを引き継いでいけるようにマニュアルを作成する仕組みを構築したり、正副議長選挙における投票前の立候補者による1人5分ほどの演説を実施する制度の導入。②予算決算審査サイクル：議長と監査委員を除く全議員の自由討議を含む予算と決算の審査及び行政へ提言を行うための委員会を設置。③意見聴取・反映サイクル：議会報告会や懇談会の実施によって集約した市民意見を行政へ提言し、その対応などを次回の報告会などで結果報告し、さらに意見集約をするというサイクルづくり。④若い世代との交流サイクル：若者や学生などとの協働を目指し、高校生議会やママさん議会や模擬投票などを行う年間の行事サイクルを構築している。

その後は、地域課題懇親会、ママさん議会、高校生による模擬選挙、議会広報誌などにおける、より具体的な施策内容などについて説明していただき、質疑応答の時間には、可児市議会が実施しておられるグループディスカッションによる議会報告会の具体的な実施についての質問などにお答えいただいた。

③参考資料

「可児市行政視察資料」

「可児市の概要」

「議会のトビラ第72号・第73号」

④考察と今後の課題

可児市議会においては、議会改革への様々な試みが行われている

が、中でも議会改革において現状の認識と把握をされた経緯が特に印象的と言える。過去において、可児市議会で政務活動費を出しあって自主的に市民アンケートを実施されるも、議会に関心が寄せられていない、そもそも議会が何をしているかが認知されていない、議会に民意が反映されている実感が無いという意見が多いことに大きなショックを受けられ、議会と市民の間にある隔たりを痛感した経験から、5年間にわたって議会改革や情報公開の徹底、広報活動などを行われた結果、市民アンケートにおける市議会への関心度が大きく向上したという経緯を持っておられる。より適切な現状認識に基づき、積極的な議会改革や若者世代へのアプローチを行われた結果、議会改革度調査においても大きな評価を得られるに至っている。市民に向けてより開かれた議会の実現や、代表として市民の声を反映しようとする姿勢が、議会への関心向上に繋がっている先進事例である。

議会への関心度、投票率の低さなどは、多くの市町村議会においても共通する課題とも言えるが、さらに、民意と現状をより正確に把握するために、議会と行政の関係性や議員間コミュニケーションの重要性を改めて認識するとともに、何よりも市民意見の集約について根本的に向き合う必要性を感じるものである。

また、可児市議会が行われているように、次代を担う若者世代との接点を多く持つことも、人口減少や少子高齢化を課題とし、公職選挙の選挙権年齢が引き下げられた現代においてますます重要視される点である。可児市において行われる子ども議会、高校生議会、高校生を対象とした模擬選挙、高校生や大学生も参加する議会報告会や地域課題懇親会、子どもさんを抱えておられる母親を対象としたママさん議会などは、どれも参考になる事例でありつつ、可児市においても若者世代の市外への流出に苦慮されておられるとのことであり、実施にどれほどの成果を見込めるのかは検証していく必要があると思われる。

さらには、可児市議会で行われている議場コンサートや、議場を薔薇の花で飾るバラ議会の実施などは、議会への関心を集める手段でありつつ、特産品である薔薇を市内外へアピールする場としても活用されている興味深い試みといえる。

また可児市においては、市民意見の集約や自由討論などを通して、議会提案にて「子どものいじめ防止条例」や「空き家等の適正管理に関する条例」などが制定された経緯があり、議会の透明化は、議

会そのものの活性化や行政への提案力の向上に繋がる可能性をも示唆するものと思われる。

また一方で、今回の行政視察において、本市の早い段階からの議員定数削減などについても触れていただいたが、本市がすでに行っている議会改革に加えて、より透明性をもって多くの民意を反映させる議会を目指すことは、議会運営における重大な責務のひとつであると改めて認識し、今回の行政視察における学びと合わせてさらに実現していくべき今後の課題と考える。

2. 愛知県岩倉市

調査事項「議会改革について」

視察先対応者

岩倉市議会		議 長	梅村 均 氏
岩倉市議会		副議長	関戸 郁文 氏
岩倉市議会	議会運営委員会	副委員長	鬼頭 博和 氏
岩倉市議会	議会運営委員会	委 員	堀 巖 氏
岩倉市議会	議会運営委員会	委 員	榊谷 規子 氏
岩倉市議会	議会運営委員会	委 員	片岡 健一郎氏
岩倉市議会		議 員	伊藤 隆信 氏
岩倉市議会		議 員	宮川 隆 氏
岩倉市議会		議 員	水野 忠三 氏
岩倉市議会		議 員	大野 慎治 氏

目 的

愛知県岩倉市議会は、2018 年議会改革度調査においてランキング 4 位に選出されている。

住民参加や傍聴者の発言、モニター制度、パブリックコメントなどを実施し先進的な取り組みをしておられる先進地において行政視察を実施し、本市に反映することを目的とする。

②施策概要

- ・議会基本条例の取り組み、議会改革に関する活動状況
- ・市内各町での議会報告会、市民団体などとふれあいトーク、若者とのおむすびトーク、外国人ママとのおだんごトーク
- ・災害発生時等の活動

- ・市議会傍聴規則
- ・市議会サポーター制度

③参考資料

- 「令和元年度行政視察資料」
- 「岩倉市議会概要」
- 「議会だよりいわくら 220 号～222 号」

④考察と今後の課題

情報公開 NO.1 の市議会を目指す！という目標を掲げ、より多くの市民からの意見を反映し、市民と共に作る議会をモットーに前向きで先進的な取り組みをされていた。

また近年多発している風水害及び地震等の災害においても的確な判断行動ができるよう要綱も作成されていた。

各町はもとより、市民団体や若年層、外国人(ブラジル人が多く約 2500 人)との意見交換をされていたり、また 2 年目となる市議会サポーター制度は 18 歳以上の市民(外国人を含む)を年代別に無作為に抽出、または公募され、現在は 18 人のサポーターが本会議や常任委員会を傍聴し、意見や提言を「市議会サポーターの声」として議会へ提出されている取り組みは市民主体の議会そのものだと感じた。視察当日も多数の議員の方々に出席いただき、直接お話を伺い、意見交換し、質疑応答ができた。

天理市においても市民の福祉向上と市政の絶え間ない発展のために自主的な改革と、議会が担うべき様々な機能の充実により一層努めていかなければならない。